

## いのちは性別を超えて存在します

世の中男性女性と区別して社会が対応していますが、性的少数の同性愛者を否定しないで、社会として対応していく方向に世界が流れています。

私という存在は、輪廻転生を繰り返して今ここに存在していますが、前世の世界すべて男として生まれていたのでしょうか。

たまたま、男になったり女になったり性的マイノリティーになったりを繰り返してきたのかと思います。前世で違う惑星で生きていたのなら、雌雄一体の生命体だったかもしれません。男と女という概念もない世界で生きていたかも知れません。姿形で判断すると本質が見えなくなるのです。

私達は同じ平等のいのちを持っています。そのいのちに悪善や尊卑や軽重の差があれば平等ではありません。不思議です。

行いによっていのちの善悪や尊卑の区別があれば、社会情勢(政治)の変化に左右されます。北朝鮮やイスラム国での正しい生き方と、日本での正しい生き方は違います。

親鸞聖人は、「この世の中の善悪という概念は一定ではない。一定でないから迷うのだ。阿弥陀仏の絶対救済の法則は、いのちを平等に見て下さるから、誰もが救われるのだ」と味わわれたのです。

いのちは0歳のいのちも100歳のいのちもみな平等に輝いていることを教えて下さるのが、なもあみだぶつのお念仏です。

合掌

写真は興元寺のあじさい

